

テーマ

地域・関係機関との連携による実効性を高めた避難訓練の実施について

鹿児島県中種子町立増田小学校

I 学校の概要（立地状況等含む）

本校区は、中種子町の北東部にあり、太平洋に面している。面積約40k㎡で地形は起伏に富み、サトウキビ畑や山林が多い。

本校は、海岸まで約600m、標高25mに位置している。児童数37名で4学級、職員数11名の小規模校である。

II 避難訓練の取組の概要

1 取組の内容、方法等

(1) 地震及び津波を想定した訓練では、校区の消防分団員の誘導の下、学校を出て高台へ避難する。一刻も早くより高い所へ逃げる意識を高めている。

(2) 地震及び火災を想定した訓練では、中種子分遣所から講師を派遣してもらい、安全な避難の仕方や消火器の使い方、煙体験等の指導をしていただいている。

2 避難訓練の内容とねらい

(1) 児童及び職員の地震及び火事・津波などの恐ろしさや防火防災に対する認識を高める。

(2) 地震及び火事・津波発生時における避難の方法や心構えについて学習し、非常時に適切な対処ができるようにする。

3 避難訓練実施までに工夫したこと

(1) 地震及び津波の訓練は、消防分団との事前の打合せで、道路の傾斜は急ではあるが、より短時間でより高い所へ避難できる経路に変更した。

(2) 各学級の事前指導で、例年と経路が違うことや急な勾配に気を付けること、避難の際に守る約束「お・か・し・も」などについて確認した。

4 避難訓練の状況

(1) 地震・津波の避難訓練の実施

ア 開催期日	令和3年11月1日
イ 参加者	全児童・職員、消防分団
ウ 参観者	町教育委員会（3人）
エ その他	なし

(2) 地震・火災避難訓練の実施

ア 開催期日	令和3年12月3日
イ 参加者	全児童・職員、消防署
ウ 参観者	なし
エ その他	なし

(3) 避難訓練の実際



【消防分団の誘導で高台に避難する場面】



【煙体験で火災の恐ろしさを学ぶ場面】

5 取組の成果と課題

(1) 成果

地域の中種子分遣所や増田消防分団の協力の下、避難訓練を安全かつ有意義に実施できた。また、具体的な講話により、防災・安全意識を高めることができた。

さらに、地元をよく知っている消防分団の方々の御指導で、例年と違う避難経路を確認できたのも大きな収穫となった。

(2) 課題

災害時には、建物の倒壊等により、訓練で使った経路が通れないことも考えられる。二次被害を出さないため、様々な状況を想定し、複数の経路を考えておく必要がある。子供の命を守るため、適切に判断できるよう共通理解に努めたい。

併せて、地域・関係機関との情報共有及び連携・協力を進めていきたい。